

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 22 日 作成

事務事業名		スクールバス運行管理事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連							
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれる町づくり			所属部 教育委員会事務局教育部 所属課 学校教育課 所属班 総務施設班 法令根拠 合志市スクールバス使用規程						
	施策	19	義務教育の充実			課長名 中島正剛 担当者名 宇野木 祐司 (内線) 2224						
	基本事業	66	教育施設の整備									
予算科目	会計	1	款	10	項	1	目	2	事業連番	10051	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 10 コスト削減優先度評価結果 6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 不明 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)												
【事業の内容】 遠隔地児童(旧合志町の合志小学校区の一部)の登下校での送迎、学校関係行事でのバス使用及びスクールバス車両管理。 【業務の流れ】 ①登校時の児童の送迎→②車両点検→③下校時の児童の送迎→④車両日誌の作成→⑤登下校時以外の学校関係のバスの使用 【主な予算費目】 職員手当(時間外)、需用費、役員費、公課費												

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)
 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)
 遠隔地児童の登下校での送迎。学校活動による児童移動で活用。

21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
 20年度と同様

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	ア:送迎日数	日
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	ア:合志小学校校区の遠隔地児童数	人
	イ:市内児童生徒	人
⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	ア:安全・安心・確実に送迎できた割合	%
⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	ア:耐震基準を満たした学校施設の割合	%
	イ:整備計画に基づく整備率	%

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	総 ト ー タ ル 複 数 年 度 の み 記 載)
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	繰入金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,943	2,005	2,235	1,823	1,341	1,500	1,500	
	(A) 事業費計	千円	1,943	2,005	2,235	1,823	1,341	1,500	1,500	
	うち指定経費	千円			101	101	101	101	101	
	うち時間外、特殊勤務手当	千円			0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	1,200	1,420	1,420	2,020	2,020	2,020		
	(B) 人件費計	千円	4,764	5,652	5,652	8,040	8,040	8,040	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,707	7,657	7,887	9,863	9,381	9,540	9,540	0
	活動指標	日	195	204	200	200	200	200	200	目 標 合 計 値 画
	対象指標	人	123	108	108	104	99	102	96	
		人	5,072	5,099	5,172	5,172	5,213	5,243	5,351	
	成果指標	%	100	100	100	100	100	100	100	
	上位成果指標	%	73.7	92.8	78.1	92.1	95.5	98.5		
		%	54.3	63.4	70.4	70.8	79.3	90.6		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 昭和44年に遠隔地児童を対象にはじまっている。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 特別にはない

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 特別にはない

事務事業名	スクールバス運行管理事業	所属部	教育委員会事務局 教育部	所属課	学校教育課
-------	--------------	-----	-----------------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 意図の安心・安全・確実に対応することにより、結果の適切な教育環境に結びつく
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 当時の自治体の都合で小学校を統合した結果、遠隔地になって一部児童へ自力登下校負担が大きくなった経緯があることから負担軽減を考慮する責任により送迎を行うことは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象位置ともに妥当である
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 地区限定での送迎の他、学校活動でも利用しており利用効率が高く、また、利用が学校活動に限定されていることから現状維持が妥当である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 遠隔地児童生徒の安全性及び体力的負担に問題が発生する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似の目的を持つ事務事業はほかにはない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ バスの更新にあたり、民間委託を含めた試算を行ない検討した結果、使用形態や中長期的に見た費用面で有利ということで、これまで同様に市で運営することとなり、導入方法も入札により決定したため削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 最小の人員で行なっているので、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 遠隔地児童生徒を対象としており、通学距離で若干の長短はあるが概ね公平公正に運行している。また、学校行事での使用を全学校を対象としており片よりはらない。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	
-----------------------------------	--

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)